

平成 26 年度入学式

平成 26 年度の第一次入学式（春期）が 4 月 11 日（金）に岐阜大学講堂にて挙行されました。今期は、20 名の方が入学されました。入学式で、この 4 月から新学長に就任されました森脇久隆学長が、農学や獣医学の研究の大切さと社会への貢献の重要性について説明されて、連合農学研究科と連合獣医学研究科の入学生を励まされました。これから先生方にはお世話になりますが、どうか宜しくご指導いただきますようお願い申し上げます。



代議委員会ニュース（研究科長裁量経費内容より）

「若手研究者育成プログラム」

昨年度に引き続いて、本プログラムの公募をいたしました。現在 12 件の応募があり、研究科の要望等をつけて申請者にお返しした処です。本プログラムは、研究費の申請だけではなく、他研究会（北大のリーディング大学院プログラム SaSSOH など）での発表や研修等を通じてプレゼンテーション力の育成に力を入れております。また、SaSSOH への参加については、別件で公募もしました。今後とも多くの方からの応募を期待しております。

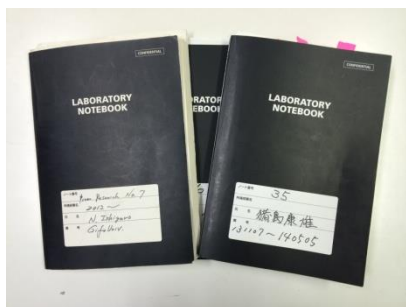
「セミナー開催支援事業」

昨年度、各大学を訪問し、大学院生の皆さまとの懇談の折、各大学での自主的な勉強会の開催や他研究機関の方を招いてのセミナーの開催についてお願いしました。本プログラムは、研究科として、大学院生の主体的なセミナー開催を支援する事業として予算化したものです。各大学の皆さんでよく相談し、企画案として、多く提案されることを期待しております。

研究科長から

「実験ノート、しっかりつけていますか？」

STAP 細胞の Nature 論文から研究者倫理の問題が大きく問われております。



STAP 細胞や STAP 現象の真偽はともかくとして、研究あるいは研究者倫理が大きく問われております。科学上の 3 つの不正行為 (FFP) として、捏造 (Fabrication)、改ざん (Falsification)、盗用 (Plagiarism) が考えられます。どれも研究者としてしてはいけない行為です。

さて、毎日、皆さんは実験ノートはつけていますか？ 自分の実験ノートのみが、自身の潔白さを証明する証拠です。PC 上に残すのではなく、実験ノートにボールペンで日時と実験結果をつけることが大切です。

研究科への新参加教員（研究科概要に掲載予定です。）

加藤健太郎先生、南保泰雄先生（帯広畜産大学）、今井正樹先生、高橋透先生（岩手大学）、吉田敏則先生、井手香織先生（東京農工大学）、桑野睦敏先生（JRA）

行事予定

- | | |
|-------------|-----------------|
| 5 月 15 日（木） | 在学期間の短縮の申請書の締切り |
| 5 月 23 日（金） | 第 2 回代議委員会（東京） |
| 6 月 10 日（火） | 学位論文審査前期最終の受付締切 |